



春が也

市民憲章

- ★ 青い海 みどりと太陽につつまれた
美しいまちをつくりましょう
- ★ 子どもの夢をそだて みんなのための
しあわせなまちをつくりましょう
- ★ スポーツに親しみ 文化をたかめ
健康なまちをつくりましょう
- ★ たがいに親切で きまりを守る
明るいまちをつくりましょう
- ★ たのしく働き 暮らしの豊かな
伸びゆくまちをつくりましょう

編集・発行 長門市役所企画課 電話 長門 (08372) ②-2111 (代表)



昭和61年 第578号

2 / 1

毎月1・15日発行

歳時記

- 2月3日 節分
- 4日 立春
- 8日 針供養・こと始め
- 11日 建国記念の日
- 19日 雨水

ハウスの中は いちごが真盛り

4日は立春です。何となく日差しにも強さを感じます。しかし、吹く風はまだ冷たい。

上田一典さん（小河内区）のビニールハウスの中では、室温も10度以上で春真盛り。赤く熟れたいちごが、緑の葉の下に並んで花の様でした。奥さんは、明日農協の市場へ出荷するいちごを摘み取っていました。

長門市は農林特産物として、いちご、ばれいしょ、くり、しいたけを指定して栽培を勧めています。上田さんは、昭和59年からグループ7戸でつくる、深川農協のいちご部会に加わり栽培に取り組んでいます。しかしいちご栽培はもっぱら奥さんの由利子さんの仕事です。真冬の夜間はハウスの中で、ローソクを何本もともして、温度を上げたそうです。2月いっぱいがいちごの収穫期です。